

小・中学校と地域が一体となり「地域の架け橋 いわくにっ子」を育む取組

山口県岩国市	● 活動名	● 関係する学校名
	岩国きんたいきょうネット	岩国市立岩国中学校、岩国市立岩国小学校、岩国市立藤河小学校、岩国市立御庄小学校、岩国市立柱野小学校

開始年度	平成 25 年度	学級数	17 学級	児童・生徒数	502 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 4 人	連携団体・企業等	各小・中学校運営協議会 岩国中央公民館 他
ボランティアの数	登録人数 125 人	属性	地域住民		
参考 URL	http://www.iwj.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/				

● 体制図



● 連絡先 岩国市立岩国中学校 ☎ 0827-43-4400

● 活動の概要・経緯
 岩国中学校区地域協育ネット（岩国きんたいきょうネット）は、平成 25 年度の設立以来、小・中学校を中心に、自治会、社会福祉協議会、公民館や幼稚園などの関係者と学識経験者の方々と交えて、地域ぐるみの活動を展開している。そして「地域の架け橋 いわくにっ子」を育むことをスローガンに掲げ、岩国中学校区内の五つの小・中学校と地域が一体となって日々活動をしている。実際の活動は、「心と行動部会」、「学力向上部会」、「地域教育部会」の三つの部会が中心となって9年間を見通した取組を企画し、各学校・地域において実践・展開している。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

「心と行動部会」では、小・中学校が一体となり保護者や地域の方と交えて、母校清掃、地域一斉清掃などの環境美化と共に心を磨く活動をはじめ、メディアとの付き合い方を考えるノーメディア・デーの実施、「あいさつができる子」をめざした各学校でのあいさつ運動などの取組を重点的に実施している。「学力向上部会」では、五つの学校が同時に実施する家庭学習強化週間の取組や小・中学校の教職員が相互乗り入れをする学習会などの取組を行っている。「地域教育部会」では、地元の名勝「錦帯橋」を軸とした、ふるさとに誇りをもつとともに自らの生き方を考えるキャリア教育の視点を取り入れた「錦帯橋学」の取組を地域と共に進めている。

【実施にあたっての工夫】

毎月1回の管理職による実行委員会を開催するとともに、教職員の相互交流を図るため、小・中学校全ての教職員が参加する合同研修会を開催し、五つの学校が地域と一体となって、目標を共有した教育活動が展開できるよう努めている。

校区が広範な地域にわたるため、細かな運営方法については、地域や学校の実態に応じた形で実施しているが、平成 32 年に全面实施される岩国市小中一貫教育を見据え、目的や目標、主な活動内容は小・中学校で共通なものにして、地域に開かれた教育課程の実現に向けた工夫を重ねている。

● 事業を実施しての効果・成果

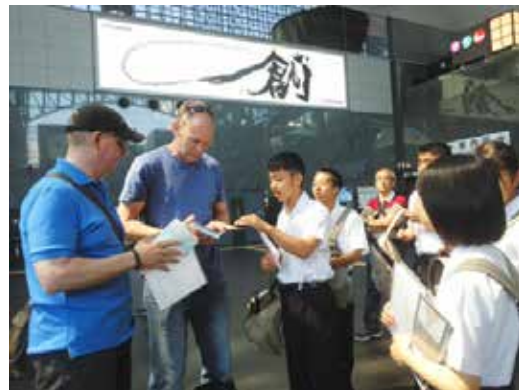
小・中学校と地域が一体となった三つの部会によって企画した取組をそれぞれの学校・地域の実情に応じた形で実施するとともに、複数の公民館や地区社会福祉協議会などの連携により、中学校区全体の地域行事一覧の作成等を行っている。その結果、地域と学校が一体となった取組を行っているという意識が地域住民に浸透しつつあり、学校と地域の関わりや結びつきが強くなってきていると感じられている。特に、「地域教育部会」による活動の成果として、子供たちの地域やふるさとに対する意識が高まり、地域行事へ参加する子供たちの数が増えてきたという感想が地域から寄せられている。

● その他

学習支援として、中学校では夏季休業中の学習会に小学校教員、秋の学習会には、地域住民、岩国中学校の卒業生等が指導にあっている。また、小学校においては公民館が中心となり、中学生、中学校教員、高校生、地域住民等が指導者となる学習会が行われている。



地域の方と中学生が指導者となった公民館主催の学習会



故郷の「錦帯橋」を修学旅行で外国人にPRする中学生

ポイント

地域協育ネットとコミュニティスクールの推進により、地域の宝を活かした「錦帯橋学」等、小中一貫教育を地域全体で支える体制になっています。「ノーメディア・デー」の実施は保護者、地域の理解があってこそですね。